

# 県独自の食品・工業製品等に関する登録制度 一覧

食のみやこ推進課

認証制度名	ねらい・概要	登録・認証の対象・期間	その他
鳥取県ふるさと 認証食品  [H18年3月～]	県内で製造される加工食品のうち、一定の要件を満たすもの(原材料、添加物、伝統的な製造技術等に配慮)を認証し、消費者の信頼と食品産業・農林水産業の振興に資する	【認証対象】 県内で製造される加工品(県産加工品) 【登録数】 H25.11時点 490商品(118社) 【認証期間】 5年間	
「食のみやこ鳥取 県」推進サポーター  [H20年5月～]	「食のみやこ鳥取県」推進の趣旨に賛同し県産食品の良さをPR・販売等している事業者を推進サポーターとして登録し、その活動をPRすることで、広く県内外に鳥取の食の魅力を発信する	【登録対象】 事業者 【登録数】 H25.11時点 1,058店舗 (596事業者) 【認証期間】 4年間	特に活発な活動を行う者を「食のみやこ鳥取県推進三ツ星サポーター」として登録
とっとり食の安全 認定制度 (クリーン・パス)  [H17年3月～]	食品の衛生管理が一定の水準にあると認められる施設を認定し公表することで、自主的衛生管理の向上を図り、安全性の高い食品が提供されることにより、消費者の食に対する安心感につなげる	【認証対象】 県内の食品製造及び調理施設 例：ゆでがに製造施設、飲食店及び喫茶店 営業、給食施設等 【登録数】 H25.10時点 16施設(12事業者) 【認証期間】 3年間	認定施設は、食品の営業許可年限を延長(5年→7年)
とっとり県産品 登録制度  [H25年12月]	県内で生産加工された工業製品、加工品、技術等を県産品として登録しPRすることで、県内産業の振興に資する	【登録対象】 県内において生産若しくは製造加工された製品又は県外において生産若しくは製造加工された製品であって産品を特徴づける材料が県内で生産されたもの(県産品) 例：LED照明、木材製品、化粧品、衣料品、防災無線システム、塩サバ等 【登録数】 募集準備中 【認証期間】 5年間	産業振興条例の施行に伴い制度設計

## 県内企業等の声

- ・県産材料を使用した商品の知名度が低い。マークを添付し鳥取県産を売りに販売促進・PRしたい。(化粧品製造業者)
- ・県産材料を使用した商品を販売。鳥取県産であることを全面に出して輸出展開したい。(加工食品製造業者)
- ・県内企業として地元で生産されていることを知ってもらいたい。(事務品製造者)
- ・鳥取県の商品(企業)であることをアピールしたい。(家電製造業者、金属製作者)
- ・県産品マークを活用して商品をPRしたい。(LED製造業者)
- ・特に食品以外の商品は県内で作られている表示がない。県内産であることが分かりにくい。(消費者団体)

# 地域イノベーション戦略支援プログラム 「鳥取大学発染色体工学技術を用いた創薬支援 等新産業クラスターの創出」キックオフセミナー

■■■ 新機軸で起業から地域活性化を目指す。 ■■■

今回のプログラムは、鳥取大学発の染色体工学技術を活用したこれまでの研究開発事業の成果を踏まえ、染色体工学技術のグローバル化を図るとともに、ヒト(HAC)及びマウス(MAC)人工染色体を用いた事業化と創薬支援等新産業クラスターの創出を目指すことによって、鳥取次世代創薬・健康産業創出地域事業に貢献することとしています。

産学官の関係機関が共通認識を持ってプロジェクトを推進するとともに、製薬会社や研究機関等全国の関係者への周知を図るため、キックオフセミナーを開催するものです。ふるってご参加ください。

◎どなたでも参加できます ◎事前申込制(裏面をご覧ください。)

セミナー  
参加無料

## 【プログラム】

●開会あいさつ (14:00~14:15)

◆講演 (14:00~18:00)

・「鳥取大学発染色体工学技術を用いた創薬支援等新産業クラスターの創出」14:15 ~ 14:55(40分間)  
…プロジェクトディレクター及び堀江透氏 / ディ・スリー研究所(前プロジェクトディレクター)

・「地域イノベーション戦略支援プログラムの具体的な研究開発課題」 14:55 ~ 15:40(45分間)  
…押村光雄氏、大林徹也氏、香月康宏氏、多田政子氏 / 鳥取大学染色体工学研究センター

・「染色体工学技術の事業化」 15:40 ~ 16:00(20分間)  
…松岡隆之氏 / 株式会社chromocenter 代表取締役  
…高山喜好氏 / 株式会社ジーピーシー研究所 代表取締役

・「再生医療の先にある医療」 16:00 ~ 17:00(60分間)  
…桜田一洋氏 / 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチチャー上席研究員

・「バイオベンチャーの創成と地域の活性化」 17:00 ~ 18:00(60分間)  
…宮田満氏 / 日経BP社 日経バイオテックONLINE Webmaster 特命編集委員

●閉会あいさつ (18:00)

※セミナー終了後、交流会開催 場所:レストラン・ポルト 参加費4,000円(18:30~)

【日時】平成25年12月17日(火)

14:00~18:00(開場13:30)

【会場】米子コンベンションセンター 小ホール

米子市末広町294 電話 0859-35-8111

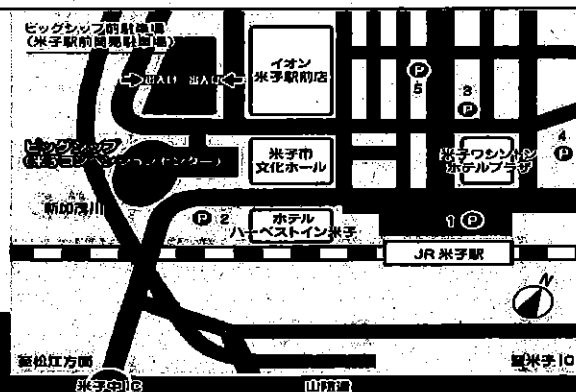
■主催 とっとりバイオイノベーション推進協議会

■お問い合わせ 公益財団法人鳥取県産業振興機構

バイオフロンティア推進室(担当:丹田)

電話:0859-37-5131 ファクシミリ:0859-37-5132

E-mail atanda@toriton.or.jp



●駐車場のご案内  
※ビッグシップ前駐車場では、米子コンベンションセンターをご利用された方の駐車料金が割引になります。ご参加される会場内まで駐車券をご持参下さい。出庫後で料金をお支払い済みの場合は対象となりませんのでご了承願います。  
※P1~P5は近隣の有料駐車場です。米子コンベンションセンターの利用割引は適用されません。

桜田 一洋 (さくらだ かずひろ) 氏

生命科学者 IPS細胞の先駆的研究者

現職:株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所  
シニアリサーチャー 上席研究員

1962年生まれ

1986年 大阪大学理学部生物学科卒業

1988年 大阪大学大学院理学研究科修士課程修了

1988年 協和発酵工業株式会社東京研究所研究員

1991年~1992年 京都大学医学部研究生

1993年 大阪大学より理学博士授与

1997年~1998年 SalkInstitute客員研究員

2000年~2004年 協和発酵工業株式会社東京研究所主任研究員

2004年~ 日本シエーリング株式会社リサーチセンター、センター長

2007年 バイエル薬品株式会社執行役員 神戸リサーチセンター長

2008年 iZumi Bio Inc. 執行役員 最高科学責任者

【主な公的活動】

経済産業省バイオタスクフォース委員会委員(2009)

経済産業省NEDO創薬診断戦略調査委員会委員(2009)

経済産業省NEDO再生医療戦略調査委員会委員長(2010)

JST CRDS 免疫、がん、発生・再生分野統合分科会委員(2010)

JST CRDS 恒常性維持機構の解明研究委員(2010)

理化学研究所政策審議委員(2011~)

JST CRDS 再生医療担当の特任フェロー(2013~)

文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム」神戸COIT-PL

宮田 満 (みやた みつる) 氏

バイオテクノロジーの産業化に係る有識者

現職:日経BP社 日経バイオテックONLINE Webmaster  
特命編集員

1954年生まれ

1977年 東京大学理学部植物学教室卒業

1979年 東京大学理学系大学院植物学修士課程修了

1979年 日本経済新聞社

1985年 日経バイオテック編集長

1996年 医療局ニュースセンター取材センター長兼マルチメディア局インターネット事業推進室編集部部长

1996年 医療局ニュースセンター長

1997年 インターネット局編集部部长兼務

2000年 バイオセンター長

2002年 医療局次長兼務

2003年 先端技術情報センター長

2004年 医療局バイオセンター長

2008年 医療局主任編集委員、BiotechnologyJapanWebmster

【主な公的活動】

厚生省厚生科学審議会科学技術部会委員

医薬基盤研究所運営委員

文部科学省科学技術・学術審議会・専門委員

科学技術振興調整費審査作業部会委員

科学技術振興機構先端計測分析技術・機器開発事業顧問

地域技術開発事業に係わる事前評価委員

## 申込方法

参加を希望される方は、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリでお申し込みいただくか、同じ内容をE-mailでお送りください。

《締め切り：平成25年12月2日（月）》

ファクシミリ 0859-37-5132 E-mail atanda@torlton.or.jp

(※ 締め切り後の参加についてはご相談ください。)

「鳥取大学発染色体工学技術を用いた創薬支援等

新産業クラスターの創出」キックオフセミナー

## 参加申込書

御氏名	御所属・職名等	セミナー	交流会
連絡先電話番号	氏名	電話	
備考			

※出欠を○×でご記入ください。